

TOEFLライティングの 効果的な訓練方法の検討 —相互添削SNSを中心に—

発表者：山本ゆうじ(秋桜舎 代表)
明治大学サービス創新研究所

日本英語教育学会第46回年次研究集会
研究集会テーマ：言語テストと高大接続
2016年3月12日土曜日・3月13日日曜日
早稲田大学(早稲田キャンパス)

秋桜舎代表・山本ゆうじ

<http://cosmoshouse.com>

- 企業向け翻訳技能・言語講習
- 翻訳専門誌・英語雑誌
などでの連載・執筆を約240件



英語学習（教育）法についての関心



背景： TOEFLライティング

Japanese TOEIC test-takers

34%

(2014) 5

TOEFLはTMN !

- **T**
 - Takai (27000 yen)
- **M**
 - Muzukashii
- **N**
 - Nagai (4.5 hours)

6

TOEFL scores for US universities

Universities	Minimal TOEFL scores
Harvard University	109
MIT	100
Stanford	100
University of Chicago	104 (26 min. for each)
Oxford	110

(Out of 120)

<http://magoosh.com/toefl/2014/toefl-scores/>

7

TOEFL in Japan

- 国家公務員試験で加点(2015年度から実施)
- 大学入試(自民党が提案、文科省が検討)

8

TOEFL iBT (since 2006)
total = 120 points

Reading

30

Listening

30

Speaking

30

Writing

30

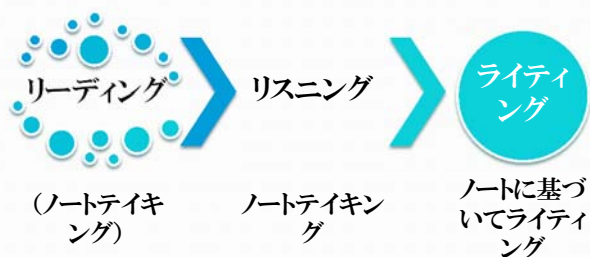
9

TOEFLライティングの問題種別

問題番号	種別	語数	分数
Question 1	リーディング	230-300	3
	+リスニング	230-300	2
	+ライティング	150-225 (or more)	20
Question 2	ライティング	300 (or more)	30

統合問題

独立問題

ライティング統合問題の
基本的な流れ

評価方式

統合問題

- 2名の評価者

独立問題

- e-raterソフトウェアによる自動判定と1名の人間評価者

人間はルーブリックに基づいて(0から5までの6段階)評価

ループリック

独立問題でスコア5に必要なタスク

- An essay at this level largely accomplishes all of the following:
 - ■ Effectively addresses the topic and task
 - ■ Is well organized and well developed, using clearly appropriate explanations, exemplifications and/or details
 - ■ Displays unity, progression and coherence
 - ■ Displays consistent facility in the use of language, demonstrating syntactic variety, appropriate word choice and idiomaticity, though it may have **minor lexical or grammatical errors**

(強調は発表者)

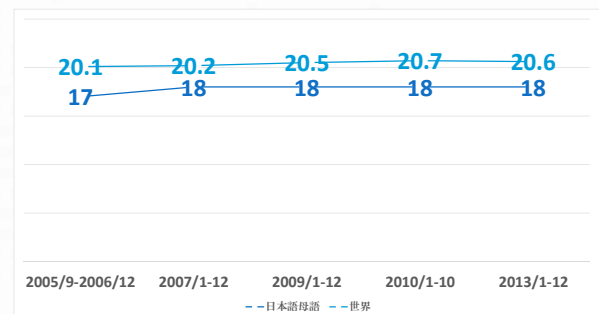
https://www.ets.org/Media/Tests/TOEFL/pdf/Writing_Rubrics.pdf

問題意識：ライティング スコアをどう上げるか

TOEFL writing "level"

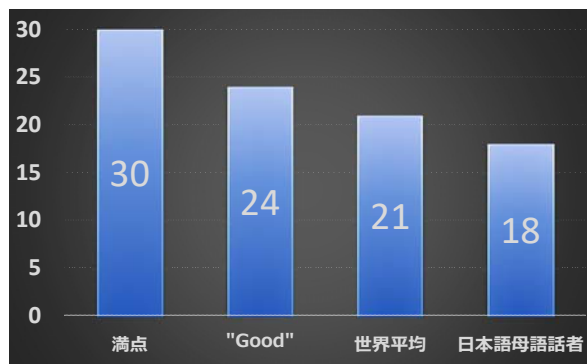
Level	Total scaled score range
Good	24-30
Fair	17-23
Limited	1-16

日本語母語話者のライティング スコア



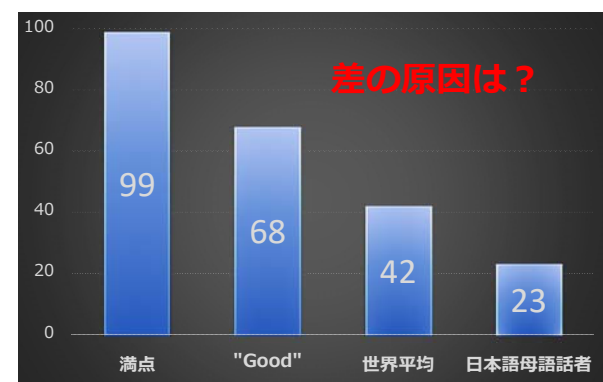
ETS, "Test Data Test and Score Data"より

ライティング スコア比較



ETS, "Test Data Test and Score Data"より

パーセンタイル順位



ETS, "Test Data Test and Score Data"より

推測1：文書を書く量が不足しているのが一因ではないか？



作文量を**圧倒的に**
増やす必要がある

推測2：学校、塾、語学教師だけで作文量を確保できるか？



継続的にほぼ毎日作文する(できる)環境を確保する

統計・還元的手法の限界

- 特定手法の効果を的確に評価できるか？
 - (他の学習手法を除外することが困難)
- TOEFL統合問題が採用されたのは、各技能のみでの測定に限界があったからでは？
- 手法：単一事例の検討

訓練実践

非英語圏で英語実使用環境と語学教員の位置付け

ヨーロッパ

• 天然の英語実使用環境が多い

日本

• 英語実使用環境が極端に不足している

人工的な英語実使用環境を強制する

「教員が教えれば教えるほど英語が嫌いになる」

- では教員以外の「友だち」では？

Language exchange

- 語学教師では不可能
- 英語を実際に使う場

相互添削サイトLang-8

- ネイティブが非ネイティブの作文を添削する
 - 添削するとポイントがもらえ、自分の作文が添削される機会が増える
- コメントが付くと書く動機付けにつながる
- SNSなのでフレンドとつながり交流できる

ライティング速度

- 30分以内に最低300語書く
 - 2分で構成
 - 3分で読み直し
- 質を落とさず

練習方法： 時間制限ライティング+Lang-8

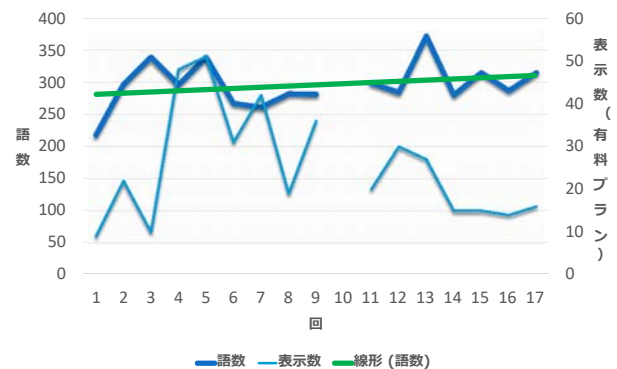
- 独立問題
 - 実際のTOEFLの受験環境に近づける
 - 1か月実践した
1. トピックは練習者が選ぶ(動機付け面で重要)
 2. 30分でタイプする
 3. 自分で見直す
 4. Lang-8に投稿する
 5. 添削結果を確認する

トピック→タイトルの例

- “Historic buildings in Tokyo, Kyoto, and Hiroshima”
- “A time traveler in the era of samurai”
- “Teachers as communicators”

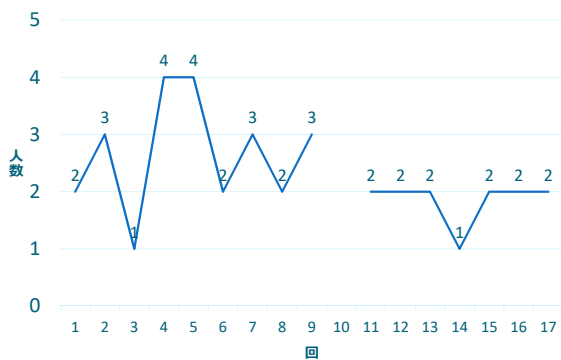
語数の増加

- 17回の練習を通して語数の増加が確認できた



添削者の数

- 平均2.31人(有料プラン)



Lang-8での時間制限 ライティング練習の結果

- 30分での語数が300語を越えるようになった
- この語数でのパラグラフ構成作文に慣れた
- 動機付けが1か月継続した

考察

動機付け面での利点

- コミュニケーションそのもの
 - 添削の正確さが問題ではない
 - 添削のために精読してもらえる満足感

動機付け面での利点

- トピックの自由度
- 自発的学習
- フレンドとのやり取り



コミュニケーションそのもの

相互添削サイトと語学教師

- 併用するのが最適

相互添削サイト	語学教師
<ul style="list-style-type: none"> 添削者の人数が多いので信頼度が高まる 無料・低コスト 短時間で添削される 気軽に書き続けられる 	<ul style="list-style-type: none"> 基本技能は高いが意見が偏ることも 費用が掛かる 添削されるまで時間が掛かる 細かくチェックされてやる気がそがれる

Lang-8の課題

1. 日本語を学びたい英語ネイティブは少ない
2. ライティング練習には時間が掛かる
3. 長期間継続するには強力な動機付けが必要 (Lang-8のみでは不足)
4. 上級者は満足を得にくい
 - →良いフレンドで解決か
5. 「宿題代行」

今後の研究課題

- 大学との建設的な協力関係(使い分け)
- 似たようなシステムを作れないか
- Lang-8に見られたさまざまな課題を解決できないか

ご清聴ありがとうございました

<http://cosmoshouse.com/learn-english/>

- 「英語すいっち」で検索
- 共同研究にご関心のある方はお知らせください

